



令和2年度

茨城県優良図書

高校生・勤労青少年向け

※金額は全て税抜き表示です。

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』

ブレイディみかこ 著

(新潮社) 1,350円



元・底辺中学校を選んで入学した、いい子で優秀な「ぼく」は、多様な価値観の中で、人種差別や貧富の差などの問題に直面する日常生活を送ることになる。世界の縮図のような環境の中で、しなやかに成長していく姿を描いたノンフィクション。

『線は、僕を描く』

砥上裕将 著

(講談社) 1,500円



両親を亡くした青山霜介は、ひよんなことから水墨画の大家である篠田湖山先生から内弟子になるようにスカウトされる。生きている瞬間を捉える水墨画を学んでいくうちに、霜介の心にもいつしか変化が…。暖かな人間関係を描く青春小説。

『太陽はひとりぼっち』

鈴木るりか 著

(小学館) 1,300円



悲しいこともあるけれど、誰かがそばにいてくれることによって乗り越えられる。現役高校生作家が綴る、愛情深い田中さん母娘を巡る、面白くて心温まる物語。思い切り笑ったあとにホロリと泣ける小説。

『地獄の楽しみ方』

京極夏彦 著

(講談社) 1,200円



小説家・京極夏彦が、言葉の罫にはまらずに、地獄のようなこの世を楽しみながら生きていくためにはどうしたらよいかということをもテーマに、若者に向けて語った特別授業。ユーモアを交えながら真理を突いた語り引き込まれること間違いなし。

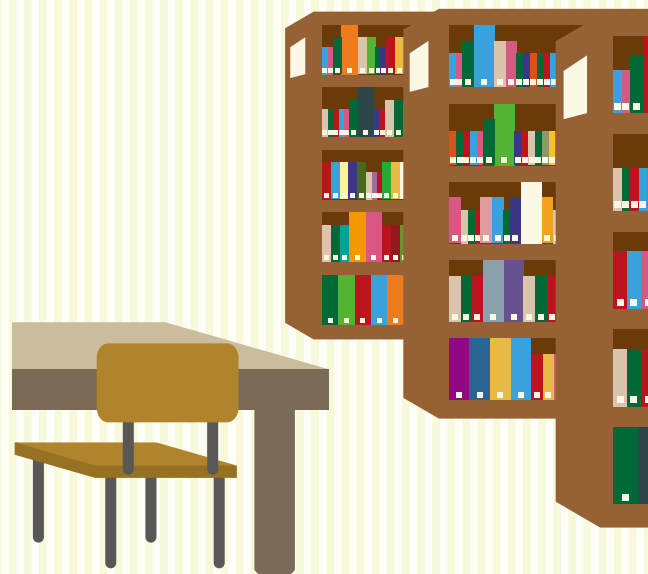
『雲を紡ぐ』

伊吹有喜 著

(文藝春秋) 1,750円



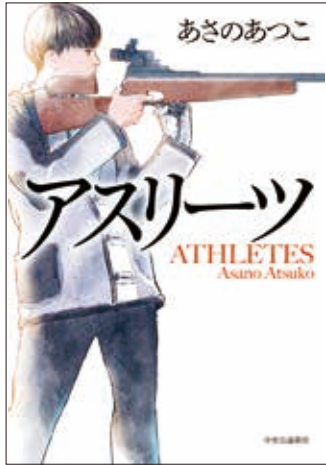
いじめにあい不登校の美緒、それを受け入れられない教師の母、そんなふたりがいる家にいたくない父。母娘の衝突をきっかけに、途絶えていたホームスペン職人の祖父と再会する。自分の気持ちを表すことの大切さを知り、強く成長していく彼女と家族の物語。



『アスリート』

あさのあつこ 著

(中央公論新社) 1,500 円



陸上で挫折し、途中退部をした沙耶。親友の花奈に誘われ進学校へ入学し、マイナー競技である射撃部に入部。競技成績があがるとともに、親友を含めた部員からの嫉妬を受けつつも、彼女自身が切り拓いていく未来を応援したくなる。

『いつかの岸辺に跳ねていく』

加納朋子 著

(幻冬舎) 1,500 円



ちょっと不思議で不器用な徹子は、幼なじみの護にとっても気になる存在だ。そんなふたりの物語は、いろいろな出来事に導かれるように重なっていく。そのとき、温かな真実が明らかになり…。ラストに感動する恋愛小説。



『風に乗って、跳べ 太陽ときみの声』

川端裕人 著

(朝日学生新聞社) 1,200 円



自分の声を必要としてくれている人がいる。小学校時代の友人である六花に誘われ、ブラインドサッカーのガイドを引き受けることになった華。今までは知らなかった新しい世界で六花たちと大きな夢を叶えていく、爽やかな青春小説。

『生きづらさを抱えるきみへ』

Withnews 編集部 著

(ベストセラーズ) 1,400 円



今を華やかに生きている人たちが、こんなにもつらい経験をしていた…。体験者は一貫して逃げることをすすめる。なぜなら生きてほしいから！今まさに悩んでいる10代へ送るメッセージ。

『ライオンのおやつ』

小川糸 著

(ポプラ社) 1,500 円



若くして余命宣告を受けた雫は、たった一人瀬戸内の島のホスピスに入居する。死を目前とした彼女らと見送る人々の物語を通して、誰もがいずれ迎える死を考えさせられる。けれど、悲しい物語ではありません。食べて、生きて、そして死ぬ…。日常が愛おしくなる物語。

このチラシに掲載された図書は、原則として、平成31年4月1日以降令和2年3月31日までに出版された図書で、図書館司書、読書団体、出版社等から推薦のあったものの中から「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」の規定に基づいて推奨したものです。

図書を選ぶ際の参考に御活用いただければ幸いです。

○お問い合わせ先

茨城県保健福祉部子ども政策局青少年家庭課

茨城県水戸市笠原町978-6

TEL 029-301-2183